

1. 文化に参加する（文化活動への参加、鑑賞、発表、支援など）

○生涯学習推進事業（公民館コンサート） 地域づくり支援課

〈施策・事業目的〉

サークル活動や、講座、教室に参加する市民が、日頃の練習成果を発表する機会を数多く提供することで、仲間とともに目標を持ち、達成感、意欲、充実感を持ちながら向上心と主体性を育成し、活躍の場を創り出す。また、それを鑑賞する市民は興味関心で集い、文化に慣れ親しむことで伝統文化を受け入れるとともに、参加者からは自発的に発表希望を受け入れることで、更なる文化継承と自らの居場所を見つけ出すサイクルを創りだし、人づくりにつなげる。公民館は、個人と社会をつなぐ「集いの場」としての役割を持たせる。

〈内 容〉

「公民館ちょっとコンサート」

公民館の昼時間を利用し、サークル、教室で学んだことを聴衆の前で披露する。

好きな時に好きなタイミングで参加、退出できる

〈実 績〉

中総合会館	:	8回
城南会館	:	7回
参加者数	:	約340人

〈結果・課題〉

- ・少しずつコンサート準備など参加者も含め自主的に実施する様子が見られ、主体性が育成されつつある。
- ・公共施設に訪れるきっかけとなった。
- ・コロナ禍での開催となり、オンラインでの実施も視野に入れる。
- ・現役世代への周知を図る。



○図書館ふれあい事業 図書館課

<施策・事業目的>

子どもたちに読み聞かせや紙芝居などを通じて物語のおもしろさを伝え、本（読書）への興味と豊かな感受性を育むとともに、図書館への親しみを深めてもらうことによって利用促進を図る。

<内 容>

おはなし会・読書会

<実施回数>

54回

<参加人数>

1,044人



<結 果>

- ・新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言に伴い、中止を余儀なくされた。
- ・密を避けるため定員を設けたことにより、参加人数は令和元年度から半減する形となった。
- ・定員を上回る申し込みがあり、市民の関心や需要の高さが再認識された。
- ・参加者からは「楽しかった」「続けてほしい」という声が多く、好評であった。

<今後の方向性>

- ・需要を踏まえ、事業を2部制にするなどして1人でも多くの方に参加していただけるよう計画する。
- ・成人を対象にした催しを開催する。

2. 文化を創造する（作品づくり、人づくり、まちづくり）

○アートスタート事業（文化のまちづくり推進事業） 文化振興課

<施策・事業目的>

乳幼児が初めてアートに触れることで、文化芸術に興味を示し楽しさを学ぶことを通して、子どもの潜在的な可能性を引き出し、豊かな感性や創造性を育むことを目指して、乳幼児がアートに触れる機会を提供する。



<内 容>・造形の部（陶芸）

～植えるA r t～陶芸 + 園芸

陶芸家高井晴美さんの指導の下植木鉢を作成し、その後舞鶴の花苗生産者からアドバイスをいただきながらの花苗植えを行う。

・音楽の部（箏）

～おことのじかん～

箏演奏家立道明美さん他による箏の生演奏と、演奏体験

<実 績>

- ・参加人数 造形の部：63人
音楽の部：79人



<感 想>

- ・初めての陶芸体験で、子どもも集中して粘土あそびをしていて新たな一面をみることができました。
- ・とても楽しかったのでこれを機会に陶芸教室に参加したい気持ちになりました。
- ・子どもにとっても私にとってもすごく貴重な体験になりました。家で世話することも積極的にやってくれそうで、”花育”につながりそうです。
- ・生演奏がよかったです。体験も子どもが意欲的にできよかったです。

<効果・今後の方向性>

- ・単に親子と陶芸家・演奏家だけでなく、農産物の生産者（花苗生産者）箏門下の小中学生等多くの市民を巻き込んだ企画となった。
- ・例年人気の講座であるが、リピーターではなく新しい人たちにも参加いただけるよう周知方法を模索する。

3. 文化でつながる（交流、連携、情報発信など）

○ユネスコ世界記憶遺産登録5周年・海外引揚75周年事業

引揚記念館

<施策・事業目的>

戦後75周年であり世界記憶遺産が登録されてから5周年という節目の年を契機として、改めて世界記憶遺産登録の意義を考える事業を展開する。

特に若い世代が引き揚げの歴史を通して、平和や命の尊さ、人と人との結びつきの大切さなどへの関心を高めるよう、様々なアプローチで参画の機会を創出する。

さらにユネスコ世界記憶遺産登録資料を活用して、国内外の博物館や関係機関と連携した特別展を開催し、国内外に平和への願いを発信する。

<内 容>

平和記念フォーラム、世界記憶遺産展の開催

<実 績>

世界記憶遺産展 入場者数：15,251人

<複合効果>

ユネスコ世界記憶遺産登録資料を所蔵する関係団体との連携が図られた。

<今後の方向性>

今後も引揚港や世界の記憶登録資料を持つ関係者との連携をより一層すすめる。



4. まちづくりに文化を活かす（美しく活力に満ちた都市の創造）

○地図アプリ アンブラマップ

（田辺城資料館管理運営・郷土資料館管理運営）

5 課連携（文化振興、広報広聴、引揚記念館、地域づくり支援、観光振興）



<施策・事業目的>

まいつるに残る歴史文化や、地域の伝承行事、民謡など本市が誇るべき地域資源「タカラモノ」を広く市民が共有し、また学びに活用するなど、市民が地元をより深く知り、まちへの誇りと愛着心をもった魅力あるまちづくりを進める。

<内 容>

シティブランディング戦略事業の一環として、地元再発見「ふるさと舞鶴」地域学推進事業で「地図アプリ Ambula map（アンブラマップ）」を使った映像・画像・解説の制作。

田辺城城下町エリアの田辺城籠城戦に始まり、城下町の変遷が見られる 8 枚の地図を導入。

<今後の方向性>

アンブラマップを積極的に活用して、本市の歴史文化遺産に触れる機会を増やすとともに、まちへの誇りと愛着心を持つ市民と、来訪者の舞鶴ファンを増やしていく。

【田辺城城下町エリア】



(明治)

⑧1899 年 丹後国田辺舞鶴城御殿図

⑦1872 年 丹後国加佐郡舞鶴竹屋町地曳絵図

(江戸後期)

⑥1809 年 竹屋町・寺内町裏川筋絵図面

(江戸・中期)

⑤1727 年 丹後国田辺之図

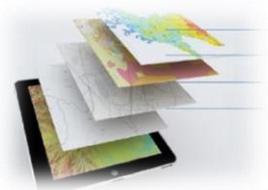
④1692 年 田辺城西側石垣修復伺図控

(江戸・前期)

③1673 年 田辺城図

②江戸時代 田辺籠城図 2（舞鶴市所蔵）

①江戸時代 田辺籠城図 1（大泉寺所蔵）



5. 舞鶴らしい文化を発信する（地域資源を継承し育むなど）

○郷土資料館管理運営 文化振興課

<施策・事業目的>

市内の歴史資料等を収蔵・保管するとともに、展示や企画を通して本市の歴史や文化財等を広く紹介する。

<内 容>

常設展示、企画展示、サロンスペース（ふるさと学習コーナー書籍陳列等）

常設展示：海とともに生きる（古代）
日本海大交易の時代（近代）
城下町田辺の歴史と文化
海軍の遺産 他



<実 績>

入館者数：4,307人

- ・企画展示「AIで広がる海辺の京都浮世絵コレクション」展
「丹後鬼づくし～海辺の京都浮世絵コレクション」展
「祈りのかたち～縄文から松尾寺発掘速報」展
- ・糸井文庫月替展示 12回
- ・AIを使って糸井文庫丹後伝説を読む講座 3回
- ・「舞鶴の宝物を知ろう」クイズラリー、同おはなし会 他

<感 想>

- ・次があったら参加したいと思った。資料をネットで見てみようと思う。
- ・楽しかった。入口の一つとして大変良いと思います。
- ・古い時代の文字が最先端のAIで読めるのがおもしろいです。

<課題・今後の方向性>

- ・年間をとおして来館者を増やすために、本市の歴史文化の魅力を分かりやすく紹介する必要がある。
- ・市内各学校への出前授業の強化により、舞鶴の歴史文化に対する興味・理解を育み、まちへの誇りを醸成する。

6. 文化の育つしくみをつくる（条例に基づいた各主体の取り組みなど）

○文化振興奨励事業 文化振興課

<施策・事業目的>

文化芸術の分野において、市民（個人・団体）が全国大会や全国規模の展覧会等に参加する場合に、文化・スポーツ振興基金から奨励金を交付することにより、本市の文化活動の奨励を図るもの。また優秀な成績を収めた市民（個人・団体）に対して優秀文化賞を授与する。

<内 容>

- ① 舞鶴市文化振興奨励金
- ② 舞鶴市優秀文化賞

※2020(R2)年12月要領について市民に分かりやすく、また幅広い文化に対応するため改正を行った。

<実 績>

- ① 舞鶴市文化振興奨励金 : 団体1件、個人2件
 - ・第17回全国高等専門学校デザインコンペティション
 - ・令和2年度愛鳥週間ポスターコンクール
 - ・第70回“社会を明るくする運動”京都府作文コンテスト
- ② 優秀文化賞 : 優秀賞3件
 - ・令和2年度愛鳥週間ポスターコンクール（府）、令和3年度愛鳥週間用原画コンクール（全国）（文部科学大臣賞）
 - ・第70回“社会を明るくする運動”京都府作文コンテスト（府）、第70回“社会を明るくする運動”作文コンテスト（全国）（優秀賞）
 - ・盆栽展「第45回雅風展」（内閣総理大臣賞/最高賞）

<課 題>

各学校等への制度の周知を図り、交付件数の増加を目指す。

